

# 魅力ある議会づくり検討会 中間報告

Vol. 70

# 議会だより

伊那市議会事務局  
TEL 0265-96-81149  
FAX 0265-76-91117  
E-mail gky@inacity.jp



4月の市議会議員選挙が無投票であったことを受け、「議員のなり手不足」や「議会のあり方」を検討する『魅力ある議会づくり検討会』を議員全員で立ち上げました。

8月3日はこの検討会の2回目で、大きく4つの項目に分れてワークショップ形式で話し合いました。

今後は、解決に向けて出来ることにはすぐに取り組み、市民の皆様にとっても議員にとっても、魅力ある議会へと改革を進めていきたいと思ひます。

項目ごと、模造紙に【現状・問題点】を書き出した後、今後の取り組みとして、【解決に向けてすぐできること】【時間をかけて検討すること】に分けて考えを出し合いました。それぞれのテーブルでの声を報告します。

## 市民への情報発信

【現状・問題点】では、情報発信する側の議会の思いと、受け取る側の市民との思いが一致していないといった声や、世代によって議会に対する思いの温度差があるなどの声がありました。

【今後の取り組み】については、市民参加での議会だより作成や、発信メニューを増やすなど、情報発信の質や量について様々な提案の声がありました。

## 市民の声を聴く手段

【現状・問題点】では、若い人、年代別の意見を聴く機会が無い。市長への手紙はあるが、議会への手紙という仕組みが無い。議会として市民の声を聴く

機会是非常に少なく、個人で行うには限度があるなどの声がありました。

【今後の取り組み】については、「議会への手紙」があると良い。議会でインスタやツイッターをすれば良い。議会サポーター制度があると良いなどの声がありました。

## 議員定数・議員報酬

議員定数の【現状・問題点】では、人口減少時代であり、21人は多い。広大な地域で民意を拾いきれていないので増員を。委員会構成は妥当で、このくらい良いと議論にならないので現状が良い。と様々な意見がありました。

議員報酬の【現状・問題点】では、子育て世代が議員になる場合を考えると報酬は少ないなどの声がありました。

【今後の取り組み】については、議員を専門職にして、暮らしの保証を。検討委員会を作り定数と報酬の根拠を明確にし、世代を問わず選挙に出易い体制を作るべきなどの声がありました。

## 地区推薦という選挙の在り方

【現状・問題点】では、後援団体を持たない人は、地区推薦が無ければ当選は厳しいのでは。地区推薦があっても良いが、議員と区長の棲み分けは必要で、議員は市全体のことを考えるべき。有権者の自由を潰すような地区推薦は有害だが、自由意思での地区での支持はあっても良いなどの声がありました。

【今後の取り組み】については、各区の総会にどの議員も出られるようにすると良い。議員の出ていない地区で市民と議会の意見交換会を開催したいなどの声がありました。



様々な意見が付箋に書き出されたワークショップ